



授業終了 巣立ちと別れの時を前に

来週は卒業式、修了式。いよいよ本日が年間授業の最後となりました。42日間の補習校を現地校の学習と両立させながら頑張っ



(小2「楽しい昼食の風景」)

てきました子どもたち。来週は、一年間の教育課程を無事修了したその努力をしっかりと褒めたいと思います。

ところで、今年度本校の教育課程の特色は、①幼稚部教育課程の充実(授業の時間延長と休憩タイムの設定) ②小6と中1での初の専科制の実施 ③小学部での新教育課程のスタートが挙げられます。①では、時間延長で園児たちに疲れや負担が出ないか ②では2人の先生の授業で生徒に戸惑いが起きないか。③では、言語活動重視の教材や古典学習の教材が並ぶことから、小学部の子どもたちは理解してくれるだろうか、等々の不安が当初ありました。しかし、子どもたちの慣れや理解がはやく、1年を通じてしっかりとその成果を挙げました。このことは、各先生方の熱心な指導とご努力があり、保護者の皆様の温かいご支援の賜物です。これらは来年度に引き継がれます。

私が、校舎の入り口に立って登校してくる子どもたちとあいさつを交わして3年、1分間スピーチから伝わってくる子どもたちの思いや感動の声を聞いて3年、教室訪問の授業で頑張っている子どもたちを見てきて3年、子どもたちから常に多くのパワーをもらい続けました。

さて、明日は、3月11日。あの大きな被害をもたらした東日本大震災が起きて1年が経ちました。今年度は、本補習校では生徒会やPTA活動の中で、被災地支援として義援金活動や「寄せ書き」を作成し、学校間の交流活動に取り組んできました。更に、「あしなが育英会」への義援金寄付を通して震災遺児支援にも取り組みました。また、子どもたちの思いが学芸会の演目にも反映され。舞台での発表となって私たちを感動させました。懸命に復旧・復興に取り組み、これまで通りの日常生活を取り戻そうと頑張っておられる被災地の皆様に引き続き支援が大切です。



中3(文集作成の編集作業)

私は、子どもたちからもらったパワーや被災地支援での子どもたちが見せた純真な思いや取り組みに触れながら、来週の卒業式・修了式に臨みたいと思います。

卒業式・修了式は12時30分開式です。